

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 7年 4月 4日

事業所名 放課後等デイサービスZEST町田

保護者等数(児童数)21

回収数10

割合

※Googleフォームにて回答

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	7	3	0		昨年マットを増やし、寝転がれるスペースを多くした。必要に応じて2Fの和室を使い、特性に配慮が必要な子が落ち着ける場所として活用している。
	② 職員の配置数や専門性は適切である	8	1	1		以前より職員の配置数に関してご意見をいただくことが度々あった。2025年3月現在職員6名体制、4月より男性児童指導員1名入職。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	9	1	0		昨年の浸水でのリフォームを機に、トイレに使いやすいタイプの手すりを設置、開き戸を引き戸に変更。子ども達の主な活動場となる1Fにはあるが、2Fにはない為そちらで活動する際は注意していく。
適切 な 支 援 の 提 供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	8	2	0		面談などで保護者のニーズを聞く機会はあるが子ども自身が考えるニーズや将来に向けての展望を取り入れられているかが課題と感じる。親御様の希望を伺い、お子様も交えて一緒に計画を立てていくことも検討していく。
	⑤ 活動プログラム が固定化しないよう工夫されている	10	0	0		
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	5	2		近隣の成人福祉施設や地域の高齢者との交流は半年に1、2回あるものの、子ども同士の交流はほぼない。今後、市や福祉団体が開催する子ども向けイベントに出かけることを検討している。
保 護 者 へ の 説 明 等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	0	0		
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	9	1	0		学校や他事業所での取り組みを聞いてこちらでも行ったり、また親御様からも最近の様子や課題を共有いただき、共通理解することが出来ている。日頃の情報伝達に関しては伝え忘れが多いなどのご意見もいただいている為改善していく。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	9	1	0		日々のカンファレンスで子ども達の課題などを話し合い、その結果各専門職からの意見をLINEや電話などでお伝えしている。行政からの情報や育児に役立つ情報、他団体からのアンケート等、情報発信を今後も継続していく。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	3	2	5		保護者会交流は開所以来、今回が初(2025年3月、虐待防止・身体拘束適正委員会)。今後は、連携や情報交換の内容希望を募り、場を作れるようにしていく。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	4	0		ご意見があった場合、即日ないし翌日には状況把握や改善点を洗い出すよう努めている。内容によって他のご利用者様や行政にも共有し対策内容を共有している。対応内容が適切でなかったり不足していると指摘をいただくこともあったため、いただいた意見を精査し改善に努めていく。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	10	0	0		
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	7	3	0		親御様との連絡方法としてLINEで情報共有をしたり、HPに自己評価、支援内容を掲示している。
	⑭ 個人情報に十分注意している	9	1	0		個人情報取扱いについての研修を実施している。また施設に外部の人が来た場合、なるべく名札や個人情報が分かるものを隠すようにしている。
非 常 時 等 の 対 応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明 されている	4	5	1		各マニュアルは作っているが保護者に周知していない。現在、災害時の対応(避難先、引き渡し方法など)を保護者に伝える書面を作成共有していく。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	4	2	4		月に1度、職員の訓練は実施しているが子どもの訓練はしていない。実際の災害を想定して、子どもと一緒に逃げる訓練を支援中に行いたい。また、子ども達にも活動の一環として、災害に関する勉強の機会を作る(楽しく勉強できるような工夫をする。)
満 足 度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしている	9	1	0		多くの子ども達に楽しみたいと思っていただけていることをとても嬉しく思う。また今後とも子ども達の本意を汲み取れるよう日頃から注意深く観察し、子ども達の意思に沿った支援であるよう努めていく。
	⑱ 事業所の支援に満足している	9	1	0		満足していると回答が多い一方、日頃ご意見をいただくこともある。小さなことでも言いやすい事業所であるよう、家族とのコミュニケーション、また子ども自身の気持ちを大切にしていく。

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。